

平成 28 年 度

審 査 意 見 書

庄 内 町 水 道 事 業 会 計 決 算

庄 内 町 ガ ス 事 業 会 計 決 算

庄 内 町 監 査 委 員

目 次

1	審査の概要	2
2	審査の結果	2
3	平成28年度庄内町水道事業会計	3
3-1	決算の状況《総括》	3
3-2	損益計算書（消費税抜き）	5
3-3	資本的収入及び支出（消費税込み）	7
3-4	業務実績と経営分析	8
3-5	貸借対照表	11
3-6	水道事業財務分析	13
4	平成28年度庄内町ガス事業会計	16
4-1	決算の状況《総括》	16
4-2	損益計算書（消費税抜き）	18
4-3	資本的収入及び支出（消費税込み）	20
4-4	業務実績と経営分析	21
4-5	貸借対照表	24
4-6	ガス事業財務分析	26
5	水道事業のむすび	29
6	ガス事業のむすび	31

表示の方法

- 1 比率（%）及び構成比（%）は、原則として小数点以下第2位を四捨五入して表示した。したがって、構成比の内訳の計が「合計」の数値と一致しない場合がある。
- 2 各表中の符号の用法は、次のとおりである。
「—」・・・当該数値がない場合又は比率で計算不能の場合
「△」・・・負数又は減少

平成28年度庄内町企業会計決算審査意見

1 審査の概要

(1) 審査の対象

- ①平成28年度庄内町水道事業会計決算
- ②平成28年度庄内町ガス事業会計決算

(2) 審査の期間

平成29年5月29日～平成29年7月3日

(3) 審査の手続き

審査にあたっては、提出された決算書類が各事業の財務状態及び経営成績を適正に表示しているかどうかを検証するため、会計簿、証書類との照合を行い、必要と認めるその他の審査手続きを実施した。

2 審査の結果

(1) 平成28年度庄内町水道事業会計

平成28年度庄内町水道事業会計決算について、決算報告書、財務諸表及び附属書類を関係帳票書類と照合審査を行った結果、地方公営企業関係法令に準拠して作成されており、計数も正確で経営成績及び財務状態を的確に表示しており、適正な決算と認めた。

(2) 平成28年度庄内町ガス事業会計

平成28年度庄内町ガス事業会計決算について、決算報告書、財務諸表及び附属書類を関係帳票書類と照合審査を行った結果、地方公営企業関係法令に準拠して作成されており、計数も正確で経営成績及び財務状態を的確に表示しており、適正な決算と認めた。

3 平成28年度庄内町水道事業会計

3-1 決算の状況 《総括》

(1) 収益的収入及び支出

収益的収入及び支出の決算状況は、決算報告書によれば、収入678,233,968円に対し、支出が596,672,388円となっている。

また、これを損益計算書によれば、収入638,080,929円、支出561,693,462円となり、収支差引76,387,467円の当年度純利益の決算となっている。

予算額に対する執行率は、収益的収入が110.2%、収益的支出が97.1%である。

区 分		決算額	上段：決算報告書による（消費税込み）		差引額	
			下段：損益計算書による（消費税抜き）			
<収益的収支>					(単位：円)	
区 分		決算額	区 分	決算額	差引額	
収益的収入		678,233,968	収益的支出	596,672,388	81,561,580	
		638,080,929		561,693,462	76,387,467	
営業 収 益	給水収益	540,440,001	営業 費 用	原水費	217,912,966	
		500,407,421		201,771,270		
	受託工事 収 益	0		配水及び 給水費	91,541,834	
		0		87,874,200		
	その他 営業収益	7,586,942		受託 工事費	0	
		7,571,690		0		
				総係費	32,640,180	
				31,776,317		
				減償却 費	197,169,477	
				197,169,477		
		資 産 減 耗 費	5,852,019			
		5,852,019				
小 計	548,026,943	小 計	545,116,476	2,910,467		
	507,979,111	524,443,283	△ 16,464,172			
営業外収益		62,609,871	営業外費用		51,548,285	11,061,586
		62,504,664			37,243,116	25,261,548
特別利益		67,597,154	特別損失		7,627	67,589,527
		67,597,154			7,063	67,590,091
差引当年度純損益		76,387,467				

(2) 資本的収入及び支出

資本的収入及び支出の決算状況は、決算報告書によれば、収入5,398,010円に対し、支出が192,430,757円となっており、187,032,747円の収入不足額が生じている。

その不足額は、当年度分消費税及び地方消費税資本的収支調整額4,956,598円、過年度分損益勘定留保資金8,645,453円、当年度分損益勘定留保資金143,816,810円及び建設改良積立金29,613,886円で補てんされている。

予算額に対する執行率は資本的収入が92.5%、資本的支出が95.8%である。

<資本的収支>

決算報告書による(消費税込み)

(単位:円)

区 分	決 算 額	区 分	決 算 額	差 引 額
資本的収入	5,398,010	資本的支出	192,430,757	△ 187,032,747
負担金	5,398,010	建設費	68,417,859	/
固定資産 売却代金	0	企業債 償還金	124,012,898	
		予備費	0	
差引当年度資金不足額		187,032,747		

3-2 損益計算書（消費税抜き）

損益計算書による総収益は638,080,929円、総費用は561,693,462円で差引76,387,467円の純利益となっている。

< 損益計算書 >

(単位：円)

< 収 益 >			< 費 用 >		
1 営業収益		507,979,111	1 営業費用		524,443,283
給水収益	500,407,421		原水費	201,771,270	
受託工事収益	0		配水及び給水費	87,874,200	
その他営業収益	7,571,690		受託工事費	0	
			総係費	31,776,317	
			減価償却費	197,169,477	
			資産減耗費	5,852,019	
2 営業外収益		62,504,664	2 営業外費用		37,243,116
加入金	1,309,000		支払利息	37,197,428	
受取利息	529,924		雑支出	45,688	
補助金	584,000				
長期前受金戻	59,164,671				
雑収益	917,069				
3 特別利益		67,597,154	3 特別損失		7,063
過年度損益修正益	67,597,154		過年度損益修正損	7,063	
当年度純損失		0	当年度純利益		76,387,467
合 計		638,080,929	合 計		638,080,929

<比較損益計算書>

(単位：円、%)

区 分	平成28年度		平成27年度	
	金 額	対 前 年 度 増 減 率	金 額	対 前 年 度 増 減 率
経 常 損 益 の 部	8,797,376	589.1	△ 1,798,665	△ 155.7
営 業 損 益 の 部	△ 16,464,172	28.8	△ 23,123,377	55.6
営 業 収 益				
給 水 収 益	500,407,421	△ 0.7	503,733,613	△ 0.4
受 託 工 事 収 益	0	—	0	—
そ の 他 営 業 収 益	7,571,690	△ 11.1	8,520,048	21.0
計	507,979,111	△ 0.8	512,253,661	△ 0.1
営 業 費 用				
原 水 費	201,771,270	△ 0.3	202,392,510	0.2
配 水 及 び 給 水 費	87,874,200	△ 8.8	96,392,332	14.8
受 託 工 事 費	0	—	0	—
総 係 費	31,776,317	2.4	31,036,940	△ 20.8
減 価 償 却 費	197,169,477	0.1	196,997,936	△ 0.6
資 産 減 耗 費	5,852,019	△ 31.6	8,557,320	87.2
計	524,443,283	△ 2.0	535,377,038	1.4
営 業 外 損 益 の 部	25,261,548	18.5	21,324,712	17.9
営 業 外 収 益				
加 入 金	1,309,000	3.7	1,262,000	109.3
受 取 利 息	529,924	△ 38.7	864,171	△ 4.4
補 助 金	584,000	0.7	580,000	△ 26.2
長 期 前 受 金 戻 入	59,164,671	1.7	58,166,985	△ 0.1
雑 収 益	917,069	16.7	785,578	△ 9.8
計	62,504,664	1.4	61,658,734	0.4
営 業 外 費 用				
支 払 利 息	37,197,428	△ 7.6	40,265,645	△ 6.9
雑 支 出	45,688	△ 33.2	68,377	10.7
計	37,243,116	△ 7.7	40,334,022	△ 6.9
特 別 損 益 の 部	67,590,091	902,504.4	△ 7,490	△ 100.0
特 別 利 益	67,597,154	皆増	0	—
特 別 損 失	7,063	△ 5.7	7,490	△ 100.0
総 収 益	638,080,929	11.2	573,912,395	△ 0.1
総 費 用	561,693,462	△ 2.4	575,718,550	△ 21.5
当 年 度 純 損 益	76,387,467	4,329.3	△ 1,806,155	98.9

3-3 資本的収入及び支出（消費税込み）

資本的収支の状況を見ると、収入は5,398,010円、支出は192,430,757円で内容は建設改良費68,417,859円と企業債償還金124,012,898円となっている。

<資本的収支の構成>

(単位：円、%)

区 分		平成28年度		平成27年度	
		金 額	構 成 比	金 額	構 成 比
資本的収入	負 担 金	5,398,010	100.0	2,136,698	100.0
	固定資産売却代金	0	—	0	—
	計	5,398,010	100.0	2,136,698	100.0
資本的支出	建 設 改 良 費	68,417,859	35.6	83,897,839	40.8
	企 業 債 償 還 金	124,012,898	64.4	121,982,181	59.2
	予 備 費	0	—	0	—
	計	192,430,757	100.0	205,880,020	100.0
差 引		△ 187,032,747		△ 203,743,322	

建設改良費は構築物工事等13件で、配水管工事延長は2,294.29mである。

<主な建設改良工事関係>

(単位：件、m、円)

分 類	件 数	延 長	工 事 費
配水管新設工事	1	6.53	579,843
配水管入替工事	6	2,058.66	57,107,652
配水管移設工事	3	229.10	9,201,600
液晶プロジェクター	1	—	79,158
スクリーン	1	—	16,756
モノクロ複合機	1	—	47,520
計	13	2,294.29	67,032,529

3-4 業務実績と経営分析

(1) 業務実績

<業務実績の推移>

対前年度増減率（単位：％）

区 分		単位	平成28年度	平成27年度	対前年度 増減率	
年度末行政区域内人口		(A) 人	21,828	22,108	△ 1.3	
年度末給水区域内人口		(B) 人	21,076	21,329	△ 1.2	
年度末給水人口		(C) 人	20,938	21,197	△ 1.2	
計画給水人口		(D) 人	27,200	27,200	0.0	
普及率(対行政区域内人口) (C)/(A)		(E) %	95.9	95.9	—	
普及率(対給水区域内人口) (C)/(B)		(F) %	99.3	99.4	—	
年度末給水戸数		(G) 戸	6,720	6,700	0.3	
年度末給水件数		(H) 件	7,529	7,511	0.2	
配 水 量	年間総配水量 (J)+(K)+(L)	(I) m ³	2,610,161	2,636,098	△ 1.0	
	有効 水量	有収水量	(J) m ³	2,464,356	2,470,814	△ 0.3
		無収水量	(K) m ³	30,690	20,131	52.5
	無効水量	(L) m ³	115,115	145,153	△ 20.7	
	※ 1日平均配水量(I)/365日	(M) m ³	7,151	7,202	△ 0.7	
	1日最大配水量	(N) m ³	9/4 8,253	9/11 8,373	△ 1.4	
	1ヶ月1戸平均配水量 (I)/(G)/12	(O) m ³	32.4	32.8	△ 1.2	
有効率 {(J)+(K)}/(I)		(P) %	95.6	94.5	—	
※ 1日平均有収水量 (J)/365日		(Q) m ³	6,752	6,751	0.0	
配水管延長		(R) m	207,216	207,143	0.0	
職員数（損益勘定所属）		(S) 人	7	7	0.0	
有収率 (J)/(I)		(T) %	94.4	93.7	—	

計画給水人口27,200人は庄内町公営企業の設置等に関する条例による。

※ 平成27年度は、日数を366日で計算している。

(2) 経営分析

<施設の効率性>

区 分			平成28年度	平成27年度	平成27年度 類似団体平均
有 収 率	%	(年間総有収水量/年間総配水量) ×100	94.4	93.7	87.3
負 荷 率	%	(1日平均配水量/1日最大配水量) ×100	86.6	86.0	79.7
施 設 利 用 率	%	(1日平均配水量/1日の最大給水量) ×100	46.4	46.8	55.4
最 大 稼 働 率	%	(1日最大配水量/1日の最大給水量) ×100	53.6	54.4	69.5
配水管使用効率	m ³ /m	年間総配水量/配水管延長	12.6	12.7	11.4
固定資産使用効率	m ³ /万円	年間総配水量/有形固定資産	6.2	6.1	6.4

1日の最大給水量は15,402m³ (庄内町公営企業の設置等に関する条例より)

<生産性>

区 分			平成28年度	平成27年度	平成27年度 類似団体平均
職員1人当たり 給水人口	人	給水人口 / 損益勘定職員数	2,991	3,028	3,419
職員1人当たり 有収水量	m ³	年間総有収水量/損益勘定職員数	352,051	352,973	352,099
職員1人当たり 営業収益	千円	$\frac{\text{営業収益}-\text{受託工事収益}}{\text{損益勘定職員数}}$	72,568	73,179	78,428
有収水量1万m ³ /日当たり職員数	人	※ $\frac{\text{損益勘定職員数}}{\text{有収水量}/10,000/365}$	10.4	10.4	10

※ 平成27年度は、日数を366日で計算している。

<供給単価と給水原価の比較>

区 分			平成28年度	平成27年度	平成27年度 類似団体平均
供給単価	円/m ³	給水収益 / 年間総有収水量	203.06	203.87	215.56
給水原価	円/m ³	経常費用 (受託工事費、材料及び不用品売却原価、 附帯事業費、長期前受金戻入見合いの減価償却費を 除く) / 年間総有収水量	203.92	209.46	220.40
1 m ³ あたりの損益 (供給単価－給水原価)			△ 0.86	△ 5.59	△ 4.84

(3) 費用分析

給水原価1m³当たりの費用構成を見ると、受水費が81.88円で構成比40.2%、有形固定資産減価償却費が80.01円、39.2%である。人件費（給料、手当、賞与引当金繰入額、賃金、法定福利費、厚生福利費、退職手当組合負担金）は24.05円、11.7%となっている。

費用全体では1m³当たりの給水原価は203.92円である。

<給水原価1m³当たりの費用構成>

(単位：円、%)

科 目	平成28年度			平成27年度		
	費 用	構 成 比	給水原価 (1m ³ 当)	費 用	構 成 比	給水原価 (1m ³ 当)
受 水 費	201,771,270	40.2	81.88	202,392,510	39.1	81.91
給 料	26,346,880	5.2	10.69	26,838,000	5.2	10.86
手 当	10,755,659	2.1	4.36	10,674,378	2.1	4.32
賞与引当金繰入額	3,997,660	0.8	1.62	3,967,917	0.8	1.61
賃 金	4,695,449	0.9	1.91	5,341,724	1.0	2.16
法 定 福 利 費	8,129,324	1.6	3.30	9,118,855	1.8	3.69
厚 生 福 利 費	79,141	0.0	0.03	78,669	0.0	0.03
退職手当組合負担金	5,272,960	1.1	2.14	5,363,760	1.0	2.17
備 消 品 費	4,260,800	0.9	1.73	3,841,091	0.7	1.56
委 託 料	14,917,817	3.0	6.05	13,522,333	2.6	5.47
修 繕 費	27,858,682	5.5	11.31	33,786,113	6.5	13.67
動 力 費	3,633,413	0.7	1.47	3,927,316	0.8	1.59
有 形 固 定 資 産 減 価 償 却 費	197,169,477	39.2	80.01	196,997,936	38.1	79.73
固 定 資 産 除 却 費	5,804,579	1.2	2.36	8,552,990	1.6	3.46
たな卸資産減耗費	47,440	0.0	0.02	4,330	0.0	0.00
企 業 債 利 息	37,136,728	7.4	15.07	40,145,245	7.7	16.25
そ の 他	9,809,120	2.0	3.98	11,157,893	2.2	4.52
長期前受金戻入 見合いの減価償却費	△ 59,164,671	△ 11.8	△ 24.01	△ 58,166,985	△ 11.2	△ 23.54
費 用 合 計	502,521,728	100.0	203.92	517,544,075	100.0	209.46

費用合計に受託工事費、附帯事業費、材料売却原価、特別損失は含まない。

3-5 貸借対照表

(1) 資産

資産合計は4,475,846,831円となっており、このうち固定資産は4,190,873,527円、流動資産は284,973,304円となっている。

<貸借対照表及び構成比率>

(単位：円、%)

科 目	平成 28 年 度		平成 27 年 度		対前年度 増減率
	金 額	構 成 比	金 額	構 成 比	
土 地	12,191,831	0.3	12,191,831	0.3	0.0
建 物	46,765,413	1.0	48,941,070	1.1	△ 4.4
構 築 物	4,067,789,459	90.9	4,198,036,349	91.1	△ 3.1
機械及び装置	53,826,949	1.2	59,325,053	1.3	△ 9.3
車両運搬具	1,105,152	0.0	1,669,992	0.0	△ 33.8
工具、器具 及び備品	8,132,527	0.2	9,461,825	0.2	△ 14.0
リース資産	1,053,366	0.0	2,145,475	0.0	△ 50.9
建設仮勘定	—	—	—	—	—
その他投資	8,830	0.0	8,830	0.0	0.0
固定資産合計	4,190,873,527	93.6	4,331,780,425	94.0	△ 3.3
現金・預金	269,671,591	6.0	207,359,340	4.5	30.1
未 収 金	10,507,625	0.3	14,049,276	0.3	△ 25.2
貯 蔵 品	4,765,288	0.1	4,975,648	0.1	△ 4.2
前 払 金	28,800	0.0	0	—	皆増
短期貸付金	0	—	50,000,000	1.1	皆減
流動資産合計	284,973,304	6.4	276,384,264	6.0	3.1
資 産 合 計	4,475,846,831	100.0	4,608,164,689	100.0	△ 2.9

(2) 負債

負債合計は2,816,169,546円である。

(単位：円、%)

科 目	平成 28 年 度		平成 27 年 度		対前年度 増減率
	金 額	構 成 比	金 額	構 成 比	
固定負債合計	1,450,125,161	51.5	1,580,325,503	52.3	△ 8.2
企業債	1,427,197,779	50.7	1,554,301,431	51.4	△ 8.2
リース債務	0	—	596,690	0.0	皆減
引当金	22,927,382	0.8	25,427,382	0.9	△ 9.8
流動負債合計	168,937,629	6.0	193,674,603	6.3	△ 12.8
企業債	127,103,652	4.5	124,012,898	4.1	2.5
リース債務	596,690	0.0	1,303,100	0.0	△ 54.2
未払金	34,672,333	1.3	64,342,332	2.1	△ 46.1
引当金	6,497,660	0.2	3,967,917	0.1	63.8
その他	67,294	0.0	48,356	0.0	39.2
繰延収益合計	1,197,106,756	42.5	1,250,874,765	41.4	△ 4.3
長期前受金	2,319,058,322	82.3	2,322,699,297	76.8	△ 0.2
収益化 累計額	△ 1,121,951,566	△ 39.8	△ 1,071,824,532	△ 35.4	△ 4.7
負債合計	2,816,169,546	100.0	3,024,874,871	100.0	△ 6.9

(3) 資本

資産合計から負債合計を差し引いた資本合計は、1,659,677,285円である。

(単位：円、%)

科 目	平成 28 年 度		平成 27 年 度		対前年度 増減率
	金 額	構 成 比	金 額	構 成 比	
資本金	1,427,027,798	86.0	1,427,027,798	90.1	0.0
資本剰余金合計	130,200	0.0	130,200	0.0	0.0
補助金	0	—	0	—	—
負担金	0	—	0	—	—
受贈財産 評価額	130,200	0.0	130,200	0.0	0.0
利益剰余金合計	232,519,287	14.0	156,131,820	9.9	48.9
減債積立金	20,308,898	1.2	20,308,898	1.3	0.0
建設改良 積立金	196,837,091	11.9	226,450,977	14.3	△ 13.1
※ 当年度未処分 利益剰余金	15,373,298	0.9	△ 90,628,055	△ 5.7	117.0
資本合計	1,659,677,285	100.0	1,583,289,818	100.0	4.8
負債資本合計	4,475,846,831		4,608,164,689		△ 2.9

※ 平成27年度の△90,628,055円は、当年度未処理欠損金であるためマイナス表示とした。

3-6 水道事業財務分析

各経営分析指標は、以下のとおりとなった。

<財務分析比率の推移>

(単位：%、ポイント)

項目	算式	28年度	27年度	増減	
健全性・安全性	自己資本構成比率	$\frac{\text{資本金}+\text{剰余金}+\text{評価差額等}+\text{繰延収益}}{\text{負債資本合計}} \times 100$	63.8	61.5	2.3
	流動負債構成比率	$\frac{\text{流動負債}}{\text{負債資本合計}} \times 100$	3.8	4.2	△ 0.4
	固定資産対長期資本比率	$\frac{\text{固定資産}}{\text{資本金}+\text{剰余金}+\text{評価差額等}+\text{固定負債}+\text{繰延収益}} \times 100$	97.3	98.1	△ 0.8
	固定比率	$\frac{\text{固定資産}}{\text{資本金}+\text{剰余金}+\text{評価差額等}+\text{繰延収益}} \times 100$	146.7	152.8	△ 6.1
	流動比率	$\frac{\text{流動資産}}{\text{流動負債}} \times 100$	168.7	142.7	26.0
	当座比率	$\frac{\text{現金預金}+(\text{未収金}-\text{貸倒引当金})}{\text{流動負債}} \times 100$	165.8	114.3	51.5
収益性	総収支比率	$\frac{\text{総収益}}{\text{総費用}} \times 100$	113.6	99.7	13.9
	経常収支比率	$\frac{\text{経常収益}}{\text{経常費用}} \times 100$	101.6	99.7	1.9
	営業収支比率	$\frac{\text{営業収益}-\text{受託工事収益}}{\text{営業費用}-\text{受託工事費用}} \times 100$	96.9	95.7	1.2
その他	企業債元金償還金対減価償却額比率	$\frac{\text{建設改良のための企業債元金償還金}}{\text{当年度減価償却額}} \times 100$	62.9	61.9	1.0

	平成28年度	平成27年度
総収益 = 営業収益 + 営業外収益 + 特別利益	638,080,929	573,912,395
経常収益 = 営業収益 + 営業外収益	570,483,775	573,912,395
経常損益 = 営業収益 - 営業費用 + 営業外収益 - 営業外費用	8,797,376	△ 1,798,665
総費用 = 営業費用 + 営業外費用 + 特別損失	561,693,462	575,718,550
経常費用 = 営業費用 + 営業外費用	561,686,399	575,711,060

項 目	解 説
自己資本構成比率	総資本に占める自己資本の構成比率で、数値が大きいほど経営の安定性は大きい。
流動負債構成比率	総資本に占める流動負債の割合を示す。
固定資産対長期資本比率	低いほど安定している。固定資産の調達は自己資本と固定負債の範囲内で行われるべきなので100%以下が望ましい。
固定比率	固定資産が自己資本によってまかなわれるべきであるとする原則から、100%以下が望ましい。
流動比率	流動比率は、流動負債に対する流動資産の割合であり、短期債務に対する支払い能力を表す。この比率が100%を下回ると不良債権が発生していることになる。
当座比率	流動資産のうち現金預金及び容易に現金化しうる未収金などの当座資産と流動負債とを対比させたもので、100%以上が理想比率とされている。
総収支比率	100%以下であれば損失を示し、100%を超える率が高いほど経営状態が良い。
経常収支比率	経常収支比率は、経常費用が経常収益によってどの程度賄われているかを示すものであり、この比率が高いほど経常利益が高く、100%未満なら経常損失が生じている。
営業収支比率	営業活動の能力を示すもので、比率が高いほど良い。
企業債元金償還金対減価償却額比率	企業債償還金とその主要償還財源である当年度減価償却費を比較したものである。企業債償還能力を示し、比率が低いほど償還能力は高い。

《資 料》

水道料金の収納状況

項 目		平 成 28 年 度		平 成 27 年 度	
調 定 額	現 年 度 分	540,440,001	円	544,032,273	円
	過 年 度 分	10,429,152	円	11,228,277	円
	計	550,869,153	円	555,260,550	円
収 入 済 額	現 年 度 分	531,369,871	円	535,422,340	円
	過 年 度 分	8,791,091	円	9,101,024	円
	計	540,160,962	円	544,523,364	円
不 納 欠 損 額		1 件	8,989 円	5 件	308,034 円
未 収 入 額	現 年 度 分	1,580 件	9,070,130 円	1,494 件	8,609,933 円
	過 年 度 分	351 件	1,629,072 円	410 件	1,819,219 円
	計	1,931 件	10,699,202 円	1,904 件	10,429,152 円
収 納 率	現 年 度 分	98.3 %		98.4 %	
	過 年 度 分	84.3 %		81.1 %	
	計	98.1 %		98.1 %	

4 平成28年度庄内町ガス事業会計

4-1 決算の状況 《総括》

(1) 収益的収入及び支出

収益的収入及び支出の決算状況は、決算報告書によれば、収入545,681,549円に対し、支出が467,830,334円となっている。

また、これを損益計算書によれば、収入507,316,410円、支出457,633,356円となり、収支差引49,683,054円の当年度純利益が生じている。

予算額に対する執行率は、収益的収入が97.1%、収益的支出が87.7%である。

区 分		決 算 額	上段：決算報告書による（消費税込み）		差 引 額	
			下段：損益計算書による（消費税抜き）			
				（単位：円）		
収 益 的 収 入		545,681,549	収 益 的 支 出		77,851,215	
		507,316,410			49,683,054	
営 業 収 益	製 品 売 上	502,610,041	営 業 費 用	製 造 費	38,546,203	
		465,379,693			37,772,137	
	受 注 工 事 収 益	15,002,417		売 上 原 価	220,620,711	
		13,891,135			220,620,711	
	器 具 販 売 収 益	35,898		供 給 販 売 及 び 一 般 管 理 費	188,366,719	
		33,240			185,355,028	
	そ の 他 営 業 雑 収 益	11,557,596		そ の 他 営 業 費 用	受 注 工 事 原 価	14,852,279
		11,535,484			13,752,130	
				器 具 販 売 原 価	57,672	
					53,400	
小 計	529,205,952	営 業 費 用 + そ の 他 営 業 費 用 計		462,443,584		
	490,839,552			457,553,406		
営 業 外 収 益		16,475,597	営 業 外 費 用		11,088,847	
		16,476,858			16,396,908	
特 別 利 益		0	特 別 損 失		0	
		0			0	
差 引 当 年 度 純 損 益		49,683,054				

(2) 資本的収入及び支出

資本的収入及び支出の決算状況は、決算報告書によれば、収入63,918,284円に対し、支出が137,532,589円となっており73,614,305円の収入不足額が生じている。

その不足額は、当年度分消費税及び地方消費税資本的収支調整額9,876,037円、過年度分損益勘定留保資金31,928,521円及び当年度分損益勘定留保資金31,809,747円で補てんされている。

予算額に対する執行率は、資本的収入が85.3%、資本的支出が93.9%である。

<資本的収支>

決算報告書による(消費税込み)

(単位:円)

区 分	決 算 額	区 分	決 算 額	差 引 額
資本的収入	63,918,284	資本的支出	137,532,589	△ 73,614,305
企業債	40,600,000	建設費	134,229,409	/
負担金	23,318,284	企業債還金	3,303,180	
固定資産売却代金	0	予備費	0	
差引当年度資金不足額		73,614,305		

4-2 損益計算書（消費税抜き）

損益計算書による総収益は507,316,410円、総費用は457,633,356円で差引49,683,054円の純利益が生じている。

< 損益計算書 >

(単位：円)

< 収 益 >			< 費 用 >		
1 営業収益		490,839,552	1 営業費用		443,747,876
製品売上	465,379,693		製造費	37,772,137	
受注工事 収 益	13,891,135		売上原価	220,620,711	
器具販売 収 益	33,240		供給販売及び 一般管理費	185,355,028	
その他 営業雑収益	11,535,484		2 その他営業費用		13,805,530
			受注工事 原 価	13,752,130	
2 営業外収益		16,476,858	器具販売 原 価	53,400	
受取利息	178,226		3 営業外費用		79,950
長期前受金 戻 入	11,670,237		支払利息	79,950	
雑 収 益	4,628,395		雑 支 出	0	
3 特別利益		0	4 特別損失		0
当年度純損失		0	当年度純利益		49,683,054
合 計		507,316,410	合 計		507,316,410

<比較損益計算書>

(単位：円、%)

区 分	平成28年度		平成27年度	
	金 額	対 前 年 度 増 減 率	金 額	対 前 年 度 増 減 率
経 常 損 益 の 部	49,683,054	313.1	12,027,370	536.2
営 業 損 益 の 部	33,286,146	744.9	△ 5,161,753	77.2
営 業 収 益				
ガ ス 売 上	465,379,693	1.0	460,560,786	△ 6.6
受 注 工 事 収 益	13,891,135	△ 12.6	15,900,647	11.0
器 具 販 売 収 益	33,240	△ 72.1	119,334	△ 49.9
そ の 他 営 業 雑 収 益	11,535,484	725.0	1,398,188	△ 31.3
計	490,839,552	2.7	477,978,955	△ 6.2
営 業 費 用				
製 造 費	37,772,137	△ 9.5	41,722,953	△ 14.4
売 上 原 価	220,620,711	△ 13.3	254,327,173	△ 11.6
供 給 販 売 及 び 一 般 管 理 費	185,355,028	8.2	171,239,340	△ 5.6
そ の 他 営 業 費 用				
受 注 工 事 原 価	13,752,130	△ 12.6	15,741,466	11.7
器 具 販 売 原 価	53,400	△ 51.4	109,776	△ 49.2
営 業 費 用 + そ の 他 営 業 費 用	457,553,406	△ 5.3	483,140,708	△ 9.2
営 業 外 損 益 の 部	16,396,908	△ 4.6	17,189,123	△ 13.6
営 業 外 収 益				
受 取 利 息	178,226	△ 41.4	304,076	△ 50.2
長 期 前 受 金 戻 入	11,670,237	△ 13.3	13,467,941	△ 9.5
雑 収 益	4,628,395	32.2	3,501,852	△ 25.3
計	16,476,858	△ 4.6	17,273,869	△ 14.4
営 業 外 費 用				
支 払 利 息	79,950	△ 5.7	84,746	△ 63.2
雑 支 出	0	—	0	皆減
計	79,950	△ 5.7	84,746	△ 69.6
特 別 損 益 の 部	0	皆減	184,708	1,947.1
特 別 利 益	0	皆減	184,708	皆増
特 別 損 失	0	—	0	皆減
総 収 益	507,316,410	2.4	495,437,532	△ 6.5
総 費 用	457,633,356	△ 5.3	483,225,454	△ 9.2
当 年 度 純 損 益	49,683,054	306.8	12,212,078	541.3

4-3 資本的収入及び支出（消費税込み）

資本的収支の状況を見ると、収入は63,918,284円で企業債40,600,000円と工事負担金23,318,284円となっている。支出は137,532,589円で内容は建設改良費134,229,409円と企業債償還金3,303,180円である。

<資本的収支の構成>

(単位：円、%)

区 分	平成28年度		平成27年度		
	金 額	構 成 比	金 額	構 成 比	
資本的収入	企 業 債	40,600,000	63.5	43,200,000	99.2
	負 担 金	23,318,284	36.5	340,000	0.8
	固定資産売却代金	0	—	0	—
	計	63,918,284	100.0	43,540,000	100.0
資本的支出	建 設 改 良 費	134,229,409	97.6	91,584,022	98.1
	企 業 債 償 還 金	3,303,180	2.4	1,784,206	1.9
	予 備 費	0	—	0	—
	計	137,532,589	100.0	93,368,228	100.0
差 引	△ 73,614,305		△ 49,828,228		

建設改良費の主なものは導管工事22件で、延長は4,622.61mである。

<主な建設改良工事関係>

(単位：件、m、円)

分 類	件 数	延 長	工 事 費
中低圧管入替工事	11	2,274.00	45,244,276
中低圧管移設工事	4	1,120.60	24,540,116
中低圧管新設工事	3	617.10	18,230,508
供給管入替、移設、新設工事	4	610.91	24,668,660
導 管 計	22	4,622.61	112,683,560
ガバナー室建替、新設工事	3	—	2,415,744
構 築 物	1	—	1,792,800
機 械 装 置	6	—	16,291,152
工 具 ・ 器 具 及 び 備 品 購 入 費	3	—	143,435
合 計	35	4,622.61	133,326,691

4-4 業務実績と経営分析

(1) 業務実績

業務実績は、以下のとおりである。

<業務実績の推移>

対前年度増減率（単位：％）

区 分		単位	平成28年度	平成27年度	対前年度増減率	
供 給 件 数	(A)	件	6,250	6,278	△ 0.4	
送 出 ガ ス 量	年間送出ガス量 (C)+(D)+(E)	(B) m ³	3,955,294	3,927,797	0.7	
	有 効 ガ ス 量	販売ガス量	(C) m ³	4,062,998	4,044,567	0.5
		自家使用量	(D) m ³	12,502	11,119	12.4
	勘 定 外 ガ ス 量	(E) m ³	△ 120,206	△ 127,889	6.0	
	※ 1日平均送出ガス量 (B)/365日	(F) m ³	10,836	10,732	1.0	
	1日最大送出ガス量	(G) m ³	2/21 18,646	2/24 17,891	4.2	
	1件1ヶ月平均送出ガス量 (B)/(A)/12	(H) m ³	52.7	52.1	1.2	
※ 1日平均有収ガス量(C)/365日	(I) m ³	11,132	11,051	0.7		
導 管 延 長	(J)	m	249,404	248,991	0.2	
職員数（損益勘定所属）	(K)	人	9	9	0.0	

※ 平成27年度は、日数を366日で計算している。

(2) 経営分析

<施設の効率性>

区 分			平成28年度	平成27年度
有 収 率	%	(年間総有収量/年間総送出力) ×100	102.7	103.0
負 荷 率	%	(1日平均送出力/1日最大送出力) ×100	58.1	60.0
施 設 利 用 率	%	(1日平均送出力/1日最大供給量) ×100	40.1	39.7
最 大 稼 働 率	%	(1日最大送出力/1日最大供給量) ×100	69.1	66.3
導 管 使 用 効 率	m ³ /m	年間総送出力/導管延長	15.9	15.8
固 定 資 産 使 用 効 率	m ³ /万円	年間総送出力/(有形固定資産/10,000)	46.0	48.5

1日の最大供給量は27,000m³ (庄内町公営企業の設置等に関する条例より)

<職員1人当たりの営業実績>

区 分			平成28年度	平成27年度
有 収 ガ ス 量	m ³	年間総有収量/損益勘定所属職員数	451,444	449,396
営 業 収 益	千円	(営業収益-受託工事収益)/損益勘定所属職員数	52,994	51,342
1 日 平 均 有 収 量 1 万 m ³ 当 たり 職 員 数	人	職員数/(1日平均有収量/10,000)	8.1	8.1

<供給単価と供給原価の比較>

区 分			平成28年度	平成27年度
供 給 単 価	円	ガス売上/年間総有収ガス量	114.54	113.87
供 給 原 価	円	費用(受注工事原価、器具販売原価、材料等売却原価、 附帯事業費、特別損失、長期前受金戻入見合いの減価償却費を除く)/年間総有収ガス量	106.36	112.23
1 m ³ あたりの損益 (供給単価-供給原価)			8.18	1.64

(3) 費用分析

供給ガス原価1m³当たりの費用構成を見ると、人件費（給料、手当、賞与引当金繰入額、賃金、法定福利費、厚生福利費、退職手当組合負担金）は18.92円で構成比は17.8%、減価償却費は17.92円、構成比は16.9%、ガス売上原価は54.30円、構成比は51.1%である。

<供給ガス原価1m³当たりの費用構成>

(単位：円、%)

科 目	平成28年度			平成27年度		
	費 用	構 成 比	供給原価 (1m ³ 当)	費 用	構 成 比	供給原価 (1m ³ 当)
給 料	34,121,100	7.9	8.40	33,524,400	7.4	8.29
手 当	14,269,538	3.3	3.51	13,975,743	3.1	3.45
賞与引当金繰入額	5,136,317	1.2	1.26	4,937,408	1.1	1.22
賃 金	5,980,485	1.4	1.47	5,362,044	1.2	1.33
法 定 福 利 費	10,470,906	2.4	2.58	11,125,730	2.5	2.75
厚 生 福 利 費	94,478	0.0	0.02	94,226	0.0	0.02
退職手当組合負担金	6,821,640	1.6	1.68	6,700,680	1.5	1.66
修 繕 費	21,194,585	4.9	5.22	11,077,684	2.4	2.74
特別修繕引当金額 繰 入	16,000,000	3.7	3.94	16,000,000	3.5	3.96
電 力 料	3,199,819	0.7	0.79	3,401,675	0.7	0.84
消 耗 品 費	8,840,617	2.0	2.17	10,102,000	2.2	2.50
委 託 作 業 費	14,298,675	3.3	3.52	13,893,465	3.1	3.43
減 価 償 却 費	72,806,069	16.9	17.92	74,895,835	16.5	18.52
ガ ス 売 上 原 価	220,620,711	51.1	54.30	254,327,173	56.0	62.88
そ の 他	9,972,886	2.3	2.45	7,956,149	1.8	1.97
長期前受金戻入 見合いの減価償却費	△ 11,670,237	△ 2.7	△ 2.87	△ 13,467,941	△ 3.0	△ 3.33
費 用 合 計	432,157,589	100.0	106.36	453,906,271	100.0	112.23

費用合計に受注工事原価、器具販売原価、材料等売却原価、附帯事業費用、特別損失は含まない。

4-5 貸借対照表

(1) 資産

資産合計は、1,173,090,715円となっており、このうち固定資産合計は859,157,078円、流動資産合計は313,933,637円となっている。

<貸借対照表及び構成比率>

(単位：円、%)

科 目	平成28年度		平成27年度		対前年度 増減率
	金 額	構 成 比	金 額	構 成 比	
土 地	17,612,774	1.5	17,612,774	1.6	0.0
建 物	88,387,884	7.5	90,387,775	8.4	△ 2.2
構 築 物	3,775,041	0.3	2,896,900	0.3	30.3
機械及び装置	116,451,228	9.9	113,285,368	10.5	2.8
導 管	623,564,815	53.2	573,811,091	53.1	8.7
車 両 運 搬 具	2,063,328	0.2	2,774,789	0.3	△ 25.6
工具器具及び 備 品	6,432,697	0.5	8,275,265	0.8	△ 22.3
リース資産	732,771	0.1	1,459,521	0.1	△ 49.8
電話加入権	110,600	0.0	110,600	0.0	0.0
その他投資	25,940	0.0	25,940	0.0	0.0
固定資産合計	859,157,078	73.2	810,640,023	75.1	6.0
現金・預金	291,176,497	24.8	202,154,170	18.7	44.0
未 収 金	14,364,657	1.3	10,145,673	1.0	41.6
製 品	1,223,186	0.1	1,354,530	0.1	△ 9.7
貯 蔵 品	7,140,497	0.6	5,704,097	0.5	25.2
前 払 金	28,800	0.0	0	—	皆増
短期貸付金	0	—	50,000,000	4.6	皆減
流動資産合計	313,933,637	26.8	269,358,470	24.9	16.5
資 産 合 計	1,173,090,715	100.0	1,079,998,493	100.0	8.6

(2) 負債

負債合計は、306,350,634円である。

(単位：円、%)

科 目	平成28年度		平成27年度		対前年度 増減率
	金 額	構 成 比	金 額	構 成 比	
固定負債合計	111,697,641	36.5	61,964,122	23.6	80.3
企業債	74,072,877	24.2	39,896,820	15.2	85.7
リース債務	0	—	442,538	0.2	皆減
引当金	37,624,764	12.3	21,624,764	8.2	74.0
流動負債合計	68,930,926	22.5	86,903,324	33.0	△ 20.7
企業債	6,423,943	2.1	3,303,180	1.2	94.5
リース債務	442,538	0.1	857,928	0.3	△ 48.4
未払金	56,626,194	18.5	76,968,660	29.3	△ 26.4
前受金	287,079	0.1	821,149	0.3	△ 65.0
引当金	5,136,317	1.7	4,937,408	1.9	4.0
その他流動負債	14,855	0.0	14,999	0.0	△ 1.0
繰延収益合計	125,722,067	41.0	114,074,020	43.4	10.2
長期前受金	926,201,650	302.3	909,957,348	346.1	1.8
収益化 累計額	△ 800,479,583	△ 261.3	△ 795,883,328	△ 302.7	△ 0.6
負債合計	306,350,634	100.0	262,941,466	100.0	16.5

(3) 資本

資産合計から負債合計を差し引いた資本合計は、866,740,081円である。

(単位：円、%)

科 目	平成28年度		平成27年度		対前年度 増減率
	金 額	構 成 比	金 額	構 成 比	
資本金	258,987,408	29.9	258,987,408	31.7	0.0
利益剰余金合計	607,752,673	70.1	558,069,619	68.3	8.9
減債積立金	19,000,000	2.2	19,000,000	2.3	0.0
利益積立金	78,639,834	9.1	78,639,834	9.6	0.0
建設改良 積立金	460,217,707	53.1	448,217,707	54.9	2.7
当年度未処分 利益剰余金	49,895,132	5.7	12,212,078	1.5	308.6
資本合計	866,740,081	100.0	817,057,027	100.0	6.1
負債資本合計	1,173,090,715		1,079,998,493		8.6

4-6 ガス事業財務分析

各経営分析指標は、以下のとおりとなった。

<財務分析比率の推移>

(単位：%、ポイント)

項目	算式	28年度	27年度	増減	
健全性・安全性	自己資本構成比率	$\frac{\text{資本金}+\text{剰余金}+\text{評価差額等}+\text{繰延収益}}{\text{負債資本合計}} \times 100$	84.6	86.2	△ 1.6
	流動負債構成比率	$\frac{\text{流動負債}}{\text{負債資本合計}} \times 100$	5.9	8.0	△ 2.1
	固定資産対長期資本比率	$\frac{\text{固定資産}}{\text{資本金}+\text{剰余金}+\text{評価差額等}+\text{固定負債}+\text{繰延収益}} \times 100$	77.8	81.6	△ 3.8
	固定比率	$\frac{\text{固定資産}}{\text{資本金}+\text{剰余金}+\text{評価差額等}+\text{繰延収益}} \times 100$	86.6	87.1	△ 0.5
	流動比率	$\frac{\text{流動資産}}{\text{流動負債}} \times 100$	455.4	310.0	145.4
	当座比率	$\frac{\text{現金預金}+(\text{未収金}-\text{貸倒引当金})}{\text{流動負債}} \times 100$	443.3	244.3	199.0
収益性	総収支比率	$\frac{\text{総収益}}{\text{総費用}} \times 100$	110.9	102.5	8.4
	経常収支比率	$\frac{\text{経常収益}}{\text{経常費用}} \times 100$	110.9	102.5	8.4
	営業収支比率	$\frac{\text{営業収益}-\text{受託工事収益}}{\text{営業費用}-\text{受託工事費用}} \times 100$	107.5	98.9	8.6
その他	企業債元金償還金対減価償却額比率	$\frac{\text{建設改良のための企業債元金償還金}}{\text{当年度減価償却額}} \times 100$	4.5	2.4	2.1

	平成28年度	平成27年度
総収益 = 営業収益 + 営業外収益 + 特別利益	507,316,410	495,437,532
経常収益 = 営業収益 + 営業外収益	507,316,410	495,252,824
経常損益 = 営業収益 - 営業費用 + 営業外収益 - 営業外費用	49,683,054	12,027,370

	平成28年度	平成27年度
総費用 = 営業費用 + 営業外費用 + 特別損失	457,633,356	483,225,454
経常費用 = 営業費用 + 営業外費用	457,633,356	483,225,454

項 目	解 説
自己資本構成比率	総資本に占める自己資本の構成比率で、数値が大きいほど経営の安定性は大きい。
流動負債構成比率	総資本に占める流動負債の割合を示す。
固定資産対長期資本比率	低いほど安定している。固定資産の調達自己資本と固定負債の範囲内で行われるべきなので100%以下が望ましい。
固定比率	固定資産が自己資本によってまかなわれるべきであるとする原則から、100%以下が望ましい。
流動比率	流動比率は、流動負債に対する流動資産の割合であり、短期債務に対する支払い能力を表す。この比率が100%を下回ると不良債権が発生していることになる。
当座比率	流動資産のうち現金預金及び容易に現金化しうる未収金などの当座資産と流動負債とを対比させたもので、100%以上が理想比率とされている。
総収支比率	100%以下であれば損失を示し、100%を超える率が高いほど経営状態が良い。
経常収支比率	経常収支比率は、経常費用が経常収益によってどの程度賄われているかを示すものであり、この比率が高いほど経常利益が高く、100%未満なら経常損失が生じている。
営業収支比率	営業活動の能力を示すもので、比率が高いほど良い。
企業債元金償還金対減価償却額比率	企業債償還金とその主要償還財源である当年度減価償却費を比較したものである。企業債償還能力を示し、比率が低いほど償還能力は高い。

《資 料》

ガス料金の収納状況

項 目		平 成 28 年 度		平 成 27 年 度	
調 定 額	現 年 度 分	502,610,041	円	497,405,657	円
	過 年 度 分	10,224,611	円	11,750,560	円
	計	512,834,652	円	509,156,217	円
収 入 済 額	現 年 度 分	493,001,397	円	488,520,671	円
	過 年 度 分	9,042,078	円	10,410,935	円
	計	502,043,475	円	498,931,606	円
不 納 欠 損 額		1 件	15,585 円	0 件	0 円
未 収 入 額	現 年 度 分	1,395 件	9,608,644 円	1,341 件	8,884,986 円
	過 年 度 分	223 件	1,166,948 円	259 件	1,339,625 円
	計	1,618 件	10,775,592 円	1,600 件	10,224,611 円
収 納 率	現 年 度 分	98.1 %		98.2 %	
	過 年 度 分	88.4 %		88.6 %	
	計	97.9 %		98.0 %	

5 水道事業のむすび

(1) 事業の概要

平成28年度の給水人口は20,938人で、前年度比較259人減少しており、給水戸数は、6,720戸で前年度比較20戸の増加となっている。また、給水件数は7,529件で前年度比較18件の増加となっている。

なお、給水人口における普及率は99.3%で前年度比較0.1ポイント減少している。

平成28年度の総配水量は2,610,161^mで前年度比較は25,937^m減少しており、有収水量は2,464,356^mで前年度比較6,458^mの減少となっている。

なお、有収率は94.4%で前年度比較0.7ポイント増加している。

(2) 経営の状況

決算報告書によると、収益的収入は678,234千円で前年度比較では63,714千円で10.4%増加し、収益的支出は596,672千円で前年度比較13,271千円で2.2%減少している。

資本的収入は5,398千円で予算執行率92.5%となっており、全額工事負担金である。資本的支出は192,431千円で予算執行率95.8%であり、支出内訳は建設改良費68,418千円、企業債償還金124,013千円となっている。

なお、収入額が支出額に不足する額187,033千円は、当年度分消費税及び地方消費税資本的収支調整額4,957千円、過年度分損益勘定留保資金8,645千円、当年度分損益勘定留保資金143,817千円及び建設改良積立金29,614千円で補填されている。

(3) 営業成績

営業収益は507,979千円で、前年度比較4,275千円減少し、内給水収益は500,407千円で、前年度比較3,326千円の減少となっており、その他営業収益も7,572千円で前年度比較948千円減少している。

一方、営業費用は524,443千円で、前年度比較10,934千円減少した。内訳は、原水費が201,771千円で、前年度比較621千円減少、配水及び給水費が87,874千円で、前年度比較8,518千円減少、総係費は31,776千円で前年度比較739千円増加、減価償却費が197,169千円で前年度比較171千円増加、資産減耗費は5,852千円で前年度比較2,705千円減少している。

営業収益－営業費用＋営業外収益－営業外費用（経常損益）は8,797千円で、特別利益67,597千円、特別損失7千円により当年度純損益は76,387千円となっている。

(4) 総括

平成28年度の水道事業会計決算は、損益計算書に示すとおり、純利益76,387千円（対前年度比4,329.3%）、1^m当りの損益は△0.86円となっており、赤字体質の解消までには至っていない。

人口減少に伴う給水収益の減少も続いている中で、企業課では「庄内町水道ビジョン（改訂版）」（平成29年3月作成）を発表して、中長期の考え方を明らかにしている。それによれば、装置産業と言われる水道事業における今後の施設の維持管理に要する費用は、法定耐用年数で、年間平均2.8億円と予想されている。これは平成28年度の建設改良費の約4.1倍である。

このようなことが現実として想定される中、安定した経営を続け、これからも安全で美味しい水を安定的に供給できるよう、水道の理想像「安全」「持続」「強靱」の観点から本町の水道事業の経営に努められたい。

6 ガス事業のむすび

(1) 事業の概要

平成28年度ガス事業は、供給区域内戸数7,073戸で、前年度比較118戸減少しており、供給件数では6,250件で、前年度比較28件の減少である。近年供給件数の減少傾向が続いている状況である。

平成28年度販売ガス量は4,062,998 m^3 であり、前年度比較18,431 m^3 の増加である。有収率では102.7%で前年度比較0.3ポイント減少している。

(2) 経営の状況

決算報告書によると収益的収支は収入が545,682千円で、前年度比較11,941千円増加し、支出は467,830千円で前年度比較26,036千円の減少となっている。

資本的収支は、収入が63,918千円で予算執行率85.3%となっており、内訳は、企業債40,600千円、工事負担金23,318千円となっている。支出は137,533千円で予算執行率93.9%となっており、内訳は建設改良費134,229千円、企業債償還金3,303千円となっている。

資本的収入が資本的支出に不足する額73,615千円は、当年度分消費税及び地方消費税資本的収支調整額9,876千円、過年度分損益勘定留保資金31,929千円及び当年度分損益勘定留保資金31,810千円で補填されている。

(3) 営業成績

営業収益は490,840千円で、前年度比較12,861千円増加した。内訳はガス売上が465,380千円で前年度比較4,819千円増加、受注工事収益が13,891千円で前年度比較2,010千円減少、器具販売収益が33千円で前年度比較86千円減少、その他営業雑収益が11,535千円で前年度比較10,137千円増加している。ガス事業収益は507,316千円で前年度比較11,879千円の増加となっている。

一方、営業費用は457,553千円で前年度比較25,587千円減少した。内訳は製造費が37,772千円で前年度比較3,951千円減少、売上原価が220,621千円で前年度比較33,706千円減少、供給販売及び一般管理費が185,355千円で前年度比較14,116千円増加、受注工事原価は13,752千円で前年度比較1,989千円減少、器具販売原価53千円で前年度比較56千円減少している。ガス事業費用は457,633千円で前年度比較25,592千円の5.3%減少している。

営業収益－営業費用＋営業外収益－営業外費用（経常損益）は49,683千円で、当年度純損益は49,683千円となっている。

(4) 総括

平成28年度のガス事業会計決算は、損益計算書に示すとおり、純利益49,683千円（対前年度比306.8%）となり、1m³当りの損益は前年より6.54円改善し、8.18円の黒字となった。

本年度はガス事業を取り巻く外的（原料費の動向）、内的（料金改定）環境の良好な推移により、多額の黒字を計上できた。

しかし、昨今の世界情勢を考えると、外的要因のこの良好な環境が今後も続くとは考え難いものであり、変動は避けられないものであると考える。

経営が良好な時こそ、中長期的な視野に立ち、しっかりした財務基盤を確立する経営に努め、今後も安全安心第一のガス事業経営に努められたい。